

## 多摩川中流域・府中市域のカモと水鳥たち

多摩川での調査を長年継続されている「府中野鳥クラブ」(会長 橋本和司氏) から、今年も調査結果が送られてきました。そこで過去のデータの再提供もいただき、2012(平成24)年から今冬までの同地での興味ある状況をご紹介します。

府中野鳥クラブの守備範囲は「多摩川の府中市内」ということで、調査地を次の5つに分けて1月初めの1日、9時から12時ごろまでに実施されています。① 調布市境～是政橋〔左岸〕② 是政橋～大丸堰〔右岸〕③ 是政橋～関戸橋〔左岸〕④ 四谷橋～大栗川合流点〔右岸〕⑤ 関戸橋～国立市境〔左岸〕。ちなみに今年は1月6日(日)に実施されました。



ヒドリガモの雄(多摩川にて)橋本和司氏撮影

### 府中市域多摩川の水鳥類の調査結果〔2012～2020年1月〕

No.	カモ	年	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	合計羽数
1	オカヨシガモ			21	2	4	19	38	3	42	51	180
2	ヨシガモ							3		2	1	6
3	ヒドリガモ		124	93	183	99	37	47			191	774
4	マガモ		50	17	4	2	4	10	10			97
5	カルガモ		53	66	27	8	5	2	2	6		169
6	ハシビロガモ		13	5	5	2		2	1	1	10	39
7	オナガガモ		6							10		16
8	コガモ		347	132	313	332	221	455	737	744	440	3721
9	キンクロハジロ			14			7	3	5	8	24	61
10	スズガモ								1			1
11	トモエガモ			3								3
12	ホシハジロ			1								1
13	ミコアイサ		1									1
	出現種数(種)		7	9	6	6	6	8	7	7	6	(羽)

No.	水鳥	年	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	合計羽数
1	カイツブリ		19	24	22	20	44	21	26	27	26	229
2	カワウ		73	231	69	45	52	50	168	54	47	789
3	アオサギ		13	33	35	7	30	16	18	34	12	198
4	ダイサギ		41	85	62	18	42	25	80	57	14	424
5	コサギ		53	4	17	35	21	25	56	25	65	301
6	オオバン		4	15	36	63	136	289	183	143	192	1061
7	ユリカモメ					1	60	47	3			111
9	カワセミ		10	4	1	2		4	2		8	31
10	イカルチドリ		11	1	17	6	4	9	11	2	5	66
11	イソシギ		6	12	6	7	6	16	4	2	2	61

(羽)

### 〔調査者からのコメント〕

- ① 多摩川は、昨年の台風19号で生態系が攪乱されました。現在、あちこちで公園や施設などの復旧工事が実施されています。
- ② オカヨシガモとハシビロガモはお気に入りのワンドがあるため増えたようです。また、ヒドリガモが増加したのは、武蔵野の森公園の池がかいぼりのため、移動してきたと思われます。
- ③ コガモが減少したのは、大丸堰上の開水面が極端に減少したため？

### 記録から見える興味あること

1. 今年の冬もっとも数が多かったカモは**コガモ**で、徐々に増加している傾向が見られます。同じように増加傾向が見られるのが**ヒドリガモ**と**オカヨシガモ**。しかし、コガモは上流の多摩川支流の浅川などでは減少傾向見られています。また、ヒドリガモやオカヨシガモは1990年代後半ごろには同じ程度の数が記録されていますので“復活”といったところです。正確な状況を知るためには多摩川全流域の一斉調査が待たれるところです。
2. 逆に減少傾向が目立つのは**カルガモ**。“どこにでもいる”といった感じのカモでしたが、減少は全国的なようです。かつては大丸堰などで1000羽を数えていた**オナガガモ**や大栗川合流点で毎年見られていたミコアイサの姿が消えたのは2003年ごろから。
3. “2003年”というと、「水鳥10種」で目立つ**オオバン**がこの地に姿を現した年。同じように初登場した場所は全国各地にあり、その理由は諸説あり、いまのところ明確ではありません。ただその頃に鳥相を変えるような大規模な環境の変化があったと思われます。
4. “環境の変化”と思われる例はサギ類でも見られています。アオサギ・ダイサギの増加傾向は多摩川以外でも知られて、カワウなども含めて“魚食性”の大型水鳥という共通点が見られます。
5. 今回の記録を分析するにあっては、まず府中野鳥クラブ発行の『**府中市域の野鳥たち Ⅲ**』（2013年刊）を手にししました。同書には1994年以降実施された調査のようすを知ることができ、今回の記録と比較ができました。また、この地は、当会の月例探鳥地である「多摩川」（多摩市）も含まれていますので、『**東京の野鳥たち～月例探鳥会7か所・20年間の記録～**』（2016年刊）とも比較しました。さらに、上流に位置する「八王子・日野カワセミ会」や下流の「世田谷トラストまちづくり」の資料も参考にしました。

〔研究部・川内〕